



～ 敗れて学ぶ事がある !! ～

新人大会サッカー競技の応援に行きました。男子 1 回戦は球陽高校と具志川高校グラウンドで 1 月 27 日 (日) に行われました。早朝から両校の保護者等応援団が駆けつけており、トーナメント戦ならではの緊張感でいっぱいでした。

開始早々浦高が先制し、前半あれよあれよと 3 点を先取しました。前半の終了間際になって 1 点は奪われたものの、こちらのペースだなどという印象でした。しかし、球陽チームの選手同士の声の掛け合いが非常に印象的でした。「こんなプレーだとこのままやられるぞ!」「お前、さっきのプレーは違うだろ!」「声出していこうぜ!」等ぜんぜん心が折れておりません。



後半が始まると相手の猛攻が始まり、1 点、また 1 点と立て続けにゴールを決められ同点。なおも勢いがついた球陽チームは点数を重ね、結局 3-5 で試合が終了してしまいました。あまりにも速い展開で応援団も何が起こったのか目を疑うばかりでした。この敗戦が浦高チームにもたらしたショックは、計り知れないものがあります。試合後は選手が倒れ込んで起き上がれなくなったり、壁にもたれて号泣していたりで、見ていて大変辛かったです。また、監督の宮崎貴士先生、顧問の平良真弥先生、コーチの皆様も心の整理に時間がかかるのではないかと思います。

しかし、どんなに時間がかかろうとこの敗戦を無駄にはしてはいけません。シロウトの私が言うのはおこがましいのですが、試合の様子はビデオで記録されているので分析ができます。前半の部分、流れが変わるタイミングやその時のチームの状態など、必ずその状態が生じる現象とそれを克服するヒントが隠されているはずです。

浦高男子サッカーがんばれ! 君たちが輝く時代が必ずきます。

● 3 年生のみなさんへ ●

3 年生は明日より進学・就職準備期間に入ります。登校するのも卒業式の予行演習など、ほんの 2～3 日です。たぶん卒業するという実感はあまりないはずですが、卒業までの日々を大切にしたいと思えます。

去った 1 月 31 日 (木) に PTA 3 学年主催の講演会があり、「ハンドルを握るあなたの責任」と題して本村努氏に講演していただきました。この企画は 3 学年 PTA 役員の皆様から是非このタイミングで伝えておきたいという強い思いから実現しました。近い将来自動車を運転する上で気を付けなければならないことや自分を守ると同時に他者も守るといふ本当に大切なことを学びました。

これまで何度も言ってきたことですが、“事故を起こそうと思って起こす人はいない”ということをお心に銘じておかなければなりません。このことは私も含め全ての運転者に言えることです。特に運転に不慣れな今は、より注意深く、謙虚にならなければならないと思えます。校長

\*\*\* 校長雑感 \*\*\*

今年の高校入試募集定員は 360 名だ。浦高も少子化のあおりを受けて 10 クラスから 9 クラスへと移行していく。本県の高校では大規模校であるが、相変わらずの人気校のひとつである。先日行われた推薦入試にもたくさんの中学生在が応募してくれた。本当に感謝の一言である。これから一般入試が始まるが、浦高の歴史を築いていく受験生に期待をしている。がんばれ～!

～～～ 時の言葉 ～～～

「勝てる、と思えば勝てる。  
勝利には信念が必要なのだ。」



ウィリアム・ヘイズリット (イギリスの作家)

どんな挑戦でも、どんな戦いにも「必ず勝つ」という信念を持つことが大切です。この信念はいかなる困難や不安をも打ち壊し、それを乗り越える力を与えてくれるでしょう。受験、競技大会、コンクールなど、勝負を賭けるときには何ものにも揺るがない信念が必要なのです。校長

～ 激しかった予餞会! ～

2 月 1 日 (金) は浦高生の底力を見ました。浦高の予餞会はバスケットボールと大縄飛びで競っていきませんが、何と言ってもバスケットはおもしろかったです。そこで見せたスピード、パワーは高校生らしく、その躍動感に圧倒されっぱなしでした。

また、1 年間を通して競った団活動も終止符を打ち、D 団がぶっちぎりで優勝を果たしましたが、他の団も本当に素晴らしかったです。解団式も行われ、それぞれの想いがいっぱい詰まった行事になったと思えます。

ひとつの目標に向かって、みんなが協力、協調していく姿はいつも感動を起こさせます。校長